

議会主導で策定 債権管理条例

総務常任委員会

12月定例会では、当委員会に付託された議案7件、意見書案1件と請願1件の審査を行いました。

◎公の施設使用料等の見直しについて

この見直しは、行財政改革の取り組みのひとつとして、使用料等の引き上げを実施するものです。

多くの施設にかかわることから、他の委員会での審査内容も踏まえて、当委員会でも条例改正の審査・採決を行いました。

委員から、将来のビジョンが示されないと、次の値上げへの不安が大きくなり、納得も得られないのではとの質問があり、基本的には5年ごとに、料金改定や減免について検証をしていきたいとの答弁がありました。

また、民間の公演、市民の地域コミュニティでの活動など、使用する団

体や目的によって、メリハリをつけて使用料や減免措置を定めることが必要ではという意見や、実際に施設を利用している市民や団体の声を反映してから議案として提出するべきとの意見がありました。

全委員賛成

◎公の施設使用料値上げに関する請願書

使用料の見直しに対して、公の施設使用料値上げやめとの会から309名の署名とともに請願書の提出があり、条例改正とあわせて審査しました。

不採択

◎一般会計補正予算

マイナンバー制度導入にかかる個人情報保護や国からの補助金について委員から質問があり、セキュリティ対策には万

全を尽くすこと、市独自の施策は補助対象外のため、債務負担行為2億円全額が補助されるわけではないという回答がありました。

その他、職員の退職手当や選挙ポスター掲示場の設置場所について質疑応答がありました。

全委員賛成

◎債権管理条例の制定

この条例は、市が保有する学校給食費など、多種多様な債権を適正に管理し、滞納整理の強化や不良債権の合理的な処分を可能にするものです。

委員から、生活困窮によって滞納状態にある場合は、就労支援や生活再建を行うことも大切な視点であるのではと質問があり、条例にはうたっていないが、滞納者の生活実態を見ることは重要であり、納税相談など窓口の充実を徹底していきたいとの答弁がありました。

また、他市を参考にし、生活困窮者に配慮した施行規則を検討すべき

全委員賛成

という旨の意見がありました。

議会では、早くから債権管理についての先進事例調査や研究を行い、行政に条例制定の必要性を提言するとともに、議会内に条例検討チームを設置し、行政との条例案の協議や調整を終え、今定例会で債権管理条例が制定されました。

◎従軍慰安婦に関する意見書

この意見書は、慰安婦問題の経緯で確認された事実について、日本の尊厳を回復すべく国際社会に向けて多言語で発信することなどを求めるもので、議論を重ねる中で、原案を一部修正して可決しました。

賛成多数

12月定例会で審議した議案

【賛否が分かれた議案と審議結果】

議案番号	議案名	議決結果	東近江市民クラブ					太陽クラブ				日本共産党		市政会		公明党		無党派									
			西崎彰	西澤由男	和田喜藏	市木徹	周防清二	加藤正明(議長)	畑博夫	河並義一	寺村茂和	戸嶋幸司	安田高玄	大橋保治	鈴木重史	杉田米男	北浦義一	山中一志	田郷正	野田清司	坂口明徳	岡崎嘉一	西澤善三	竹内典子	村田せつ子	大洞共一	横山榮吉
118	東近江市ふるさと文化体験学習館条例等の一部改正	原可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
123	東近江市幼稚園条例の一部改正	原可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
124	東近江市認定こども園条例の一部改正	原可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第6号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書について	否決	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
意見書案第7号	従軍慰安婦問題に関する意見書について	修正案可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	
請願第4号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	-	×	欠席	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
請願第6号	公の施設使用料値上げに関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

○は賛成 ×は反対 ※加藤議長は採決に加わらない